

「高校生活というマラソンレースを走り抜く」

校長 升 田 重 樹

美瑛町では6月に「びえいヘルシーマラソン」が開催され、道内外からたくさんの参加があり、後にその様子がテレビ放映されるなど、とても盛大に行われます。本校では毎年この大会に生徒と教職員全員がボランティアで参加し、大会運営に携わっています。

今年度私は、自身がハーフマラソン部門に参加し、走りながら給水地点等で業務に励んでいる生徒たちの姿をカメラに収めようと楽しみにしていました。しかし、昨今のコロナ禍において残念ながら大会が中止となり、目的を果たせませんでした。

私は心残りがあったことから、一人でハーフマラソンコースを走ってみようと考え、9月中旬にチャレンジしました。大雪青少年交流の家から美瑛町陸上競技場までの約21kmのコースです。ハーフマラソンの距離を走ることも、そのコースを走ることも初めてであり、考えていた以上に苦戦しました。それでもなんとかゴールまで辿り着きましたが、終わった後は声も出ないほどの疲労感があり、達成感ではなく辛かったという気持ちが残りました。しかし、これが実際のレースに参加したらどうだったであろうかと考えました。



まず、一緒に走るランナーがたくさんいます。スタート、給水場、ゴールには生徒たちがいます。沿道にはたくさん応援してくれている人たちがいます。おそらく精神的にも肉体的にも一人で走るよりは楽な気持ちで走れたであろうと思いました。それに対して一人で走り抜くというのは、とにかく孤独で辛いということです。

よく人生はマラソンに喩えられます。高校生活を全員一斉にスタートし、最初は楽かもしれませんが、その道程は常に山あり谷ありではないでしょうか。それによって走るペースも個々によって変わってきます。順調なペースで行く人もいれば、途中立ち止まってしまう人もいるでしょう。実際にコースを走った私も「心臓破りの坂」と呼ばれる難関などがあり、何度もくじけそうになりました。でもそこでリタイアしたらチャレンジは終わりです。考えてみてください。生徒たちはたくさんの仲間たちと高校生

活というレースを走っています。そして保護者や先生たちなど、たくさんの人がゴールできるようにサポートしてくれます。決して一人孤独に走っているのではないのです。特に3年生はゴールまで残りわずか半年弱です。ゴールの仕方はそれぞれだと思いますが、最後は全員が充実した気持ちで走りきってほしいものです。卒業後は一緒に走った仲間たちとも離れ、またすぐに一人で新たなマラソンのスタート地点に立たなければなりません。できることであれば次のスタートに備え、少し余力を残してゴールできるように最後まで力を抜かず精一杯努力してほしいです。その姿を後輩たちは見えています。

ちなみに私は最初のハーフマラソンチャレンジの2週間後に再度同じコースを走ってみました。2回目ということもありコースも把握しておりペース配分も考えることができたことから前回よりも30分以上タイムを縮めることができました。これが経験というものですね。経験を重ねてそれが力になり、更なる意欲が生まれる。来年のびえいヘルシーマラソン開催が今から待ち遠しいです。

1年生インターンシップ

10月13日(火)から2日間、本校1年生を対象としてインターンシップ(就業体験実習)を行いました。町内や近隣の事業所14カ所に分かれてそれぞれ貴重な体験をさせていただきました。中には休業日なのに協力いただいた事業所様もあり、心より感謝申し上げます。学校ホームページにも記事や写真を掲載しましたので是非ご覧ください。この経験を自身の進路選択やキャリアプランニングに役立ててほしいと思います。



生徒会長から

みなさんこんにちは。この度生徒会会長になりました及川沙南と申します。私は全校生徒が楽しめるような生徒会企画を考えていきたいと思っています。例えば発表することが好きな人や得意な人だけが表舞台に出るのではなく、全校生徒みんなが主役になれるような企画を考えていきたいと思っています。



実は私も人前に出ることが苦手だったのですが、1年生の時に「自分を変えたい」と勇気を出して生徒会会計になりました。認証されたばかりの頃は、「私に仕事が勤まるのだろうか」と不安しかありませんでしたが、慣れていくうちに、原稿を準備してではありますが人前でも話すことができるようになってきました。そんな経験から、みなさんにも様々な場面や機会に「主役」となれるような、そんな経験をしてほしい、みんなが楽しいと思えるような機会や場面を創出したい、そんな風に考えています。私なりに全力で努めていきますので応援よろしくお願いします。

今年は新型コロナウイルスが流行り、多くの行事が中止や延期になりました。この先、いつ頃収まるのかもあやふやで、分からないこともまだまだあるのですが、それでも私たちの知恵や力を結集して、良いものができるよう企画・立案していきたいと考えています。学校行事についても新しい生活様式に基づいた、「新型コロナウイルス感染症の予防や対策」を念頭に置きながらも、生徒のみなさんが楽しいと思えるような企画作りを進められるよう、生徒会執行部全員で力を合わせて進めていきたいと思っています。

新しい生徒会執行部のメンバーは今までよりさらに明るい人たちが多く、アイデアを次々と出してくれる頼もしい人たちです。時にはふざけたり、そして時には真剣にと、メリハリのある人たちなので、きっと楽しい企画ができると 생각합니다。私自身も今からとても楽しみです。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で先が見えない面もあって、暗い雰囲気が続いていますが、活気のある生徒会活動ができるように、生徒会執行部のメンバーと力を合わせて精一杯頑張っていきますので、温かい目で見守っていただけると幸いです。

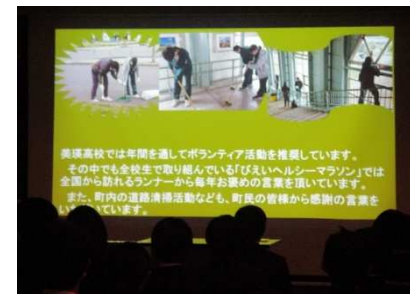


令和2年度オープンスクール

10月20日(火)の午後から、本校のオープンスクール(学校見学会)を実施しました。本校は小さな学校ですが、小さな学校だからこそその良さがあります。今回見学できなかった生徒のみなさんや保護者の方々も、ご希望があれば是非本校までお問い合わせください(学校ホームページのトップページに電話番号・メールアドレスがあります。お気軽にお問い合わせください)



校舎内見学の様子



学校紹介のスライドの1枚

保護者各位

新型コロナウイルス感染症の猛威はまだまだ続いており、他管内では生徒はもちろん、教職員の感染も出ている状況です。本校はもちろん、上川管内では不幸中の幸い学校関係者の感染者は報道されておませんが、ウイルス自体は北海道内どこにいても蔓延している状況かもしれません。本校では三密の回避、手洗いやうがいについて引き続き指導しているところですが、ご家庭におかれましても是非「新しい生活様式」に基づいた生活習慣をしっかりと身に付けるようご指導ください。

いつ終焉を迎えるかはわからない状況につき、なかなか大変ですが、学校と家庭とで粘り強い指導連携のご協力をお願い申し上げます。

対策中



手洗い・消毒
ご協力おねがいします